

中国四川省における広島県産酒類商談会等の実施結果について

1 要旨・目的

今年、本県との友好提携40周年を迎えた四川省において、周年行事に合わせ、広島・四川経済交流事務所（以下、広島県四川事務所という）が広島県産酒類商談会等を開催したため、その結果を報告する。

2 概要

(1) 実施内容

○ 商談会等

開催日	令和6年11月12日（火）
主催	広島県四川事務所
場所	商談会：成都茂業 JW 万豪酒店（成都市錦江区） ペアリングイベント：陳麻婆豆腐青華店（成都市青羊区）
商談相手	現地レストランを中心とした現地企業
参加予定酒蔵	今田酒造本店、金光酒造、賀茂鶴酒造、酔心山根本店、天寶一、白牡丹酒造、馬上酒造、林酒造、藤井酒造、三宅本店、三輪酒造、山岡酒造（以上12蔵）

○ 成都市調理協会との覚書締結

四川省における県産酒類の販路拡大につなげるため、成都市内のレストラン経営者からなる成都市調理協会との間で、県産酒類の消費拡大・相互交流の促進についての覚書を締結した。

○ 広島国税局主催の日本酒商談会

県商談会の翌日（11/13）に、重慶市内において広島国税局主催の商談会が開催され、110人の参加者で賑わい、県内企業の販路拡大につながった。

○ 広島県四川事務所の在外公館長表彰

日中の友好交流に多大な功績があったとして、広島県四川事務所が重慶総領事から表彰を受けた。

(2) 実施結果

- ・ 来場企業数 現地レストランを中心とした 112社
- ・ 当日成約額 21,247 人民元（約45万円）
- ・ 成約見込額 273,000 人民元（約580万円）

(3) 参加酒蔵からのコメント

- ・参加した12蔵中11蔵が「(とても)充実したイベントだった」と回答。
- ・「参加者の熱意を感じた」「成都の市場はほぼゼロの状態だったが、かなり多くの飲食店から引き合いがあった」

(4) 来場者からのコメント

- ・「白酒も販売量が下り坂であり、ワインも伸び悩んでいるので、次の牽引役は日本酒になるかもしれない」「eコマースで取り扱いたい」
- ・「中華料理と言えば無条件に白酒だと思っていたが、日本酒ととてもマッチすることがわかった。こんな辛い料理ととても相性がいいとは思わなかった」

3 予算（単県）

非予算（四川事務所運営費は12,959千円）

【現地の様子】

商談会



商談会



ペアリングイベント



成都市調理協会との覚書締結



広島国税局主催の日本酒商談会



広島県四川事務所の在外公館長表彰

